

No reflow/slow flow の原因

- 1 . 心筋虚血そのものによる組織の浮腫や血管内皮細胞の障害
- 2 . 再灌流に伴う組織の浮腫、血管内皮細胞の障害、活性酸素による障害
- 3 . 末梢塞栓

[末梢塞栓に対する予防]

Distal Protection device (Guardwire, Filterwire)

[対処]

まずは Spasm を除外するために十分な硝酸剤の投与

血行動態のサポート：薬物、機械的サポート（IABP）

no reflow/slow flow に対する薬物投与

ニトログリセリン、ニコランジル、ペルサチン、ヘパリン

投与方法：ガイディングカテーテルから(selective)よりもマイクロカテ（特に Lumine）から superselective に投与するのが有効。ガイディングから投与しても slow flow 時には薬物が対象血管末梢まで到達せず、体血圧だけ下がってしまうなどの不利なことがある。

有効性：ニトログリセリン、ペルサチンがより有効（らしい）

末梢塞栓以外の原因による slow flow ではこのような薬物療法をおこなっても改善せず、最終的に TIMI3 flow が得られないことがある。そのような症例では mechanical complication (rupture など)の high risk と考えて慎重に対処することが必要。